

経済学研究科未来プラン2021

～地域・企業・人のコンピテンシー向上プラン～

■ 経済学研究科未来プラン2021で目指すこと

- ① 教育研究施設の整備を進め、魅力ある教育環境をつくり、アクティブな学びを実現していきます。
- ② 経済学研究科・経済学部の教職員・学生は、新しい時代のプレイヤーとして役割を果たし、社会貢献を実現します。

■ 社会情勢の変化・現状と課題

カーボン・ニュートラル社会を目指す動きが本格化し、名古屋市は「SDGs未来都市」として地方創生を推進しています。このような中でSociety5.0時代の新産業創出という「企業のコンピテンシー」を考える視点、人生100年時代の新たな生き方を模索する「人のコンピテンシー」を考える視点からのニーズが高まっています。教職員及び学生が新しい時代のプレイヤーとして役割を果たし、社会に貢献することが必要です。経済学研究科・経済学部では教育研究施設の整備を進め、新しい時代における教育、研究、そして、社会に貢献します。

■ 代表的な取り組み

教育研究施設の整備

教育研究施設の整備により、魅力ある教育環境をつくり、データ分析能力に長けた人材を育てていきます。

名市大未来プラン2021 1-(5)

名古屋市のシンクタンク機能の強化

名古屋市の課題に対して、名古屋市に蓄積されたビッグデータを活用したエビデンス・ベースの政策提言・学修プロジェクトによる課題解決等を目指すなど、シンクタンク機能を強化します。

名市大未来プラン2021 3-(4)

国際交流協定校との研究教育交流の促進

経済学研究科・経済学部の学生と教員が、海外拠点校を中心として国際交流協定校との研究や教育の交流を通じた国際化に取り組みます。

名市大未来プラン2021 4-(3)

(1) 教育研究施設の整備

教育研究施設の整備により、魅力ある教育環境をつくり、データ分析能力に長けた人材を育てていきます。

名市大未来プラン2021 1-(5)

【実行項目】

- ①3号館（経済学研究科・経済学部）の建替えの準備（2022年度～）
- ②データ分析をはじめとする新しい教育の充実（2021年度～）
- ③データサイエンス学部（仮称）との関係性強化（2023年度～）

(2) 柔軟な教育プログラム

多様な学修者のニーズを考慮し、時代の変化に対応した柔軟な教育プログラムを構築します。

名市大未来プラン2021 1-(2)

【実行項目】

- ①情報教育プログラムの導入・点検・見直し（2023年度～）
- ②先端的な教育を受ける機会の確保（2022年度～）

(3) 経営者コースとアントレプレナーシップ教育

社会のニーズに合致し、地域の経済・経営を支える未来志向の人材を養成します。

名市大未来プラン2021 1-(1)

【実行項目】

- ①経営者コース修了生と担当教員による起業家支援及び起業志望者の支援セミナー（シンポジウム）の実施（2021年度～）
- ②経営者コース修了生を主たる講師とした起業支援科目の設置（2021年度～）
- ③アントレプレナーシップ教育の充実（2023年度～）

(4) 学修をサポートするシステムの整備

BYOD（Bring Your Own Device）の導入にあたり、情報リテラシーを強化しながらそれらを有効活用するための方法を検討します。

名市大未来プラン2021 1-(5)

【実行項目】

- ①遠隔授業を念頭においたネットワークシステムの強化（2023年度～）
- ②学修に関する人的支援の拡充（2023年度～）
- ③学修に必要な資料の体系的整備（2023年度～）
- ④学習成果の可視化（2023年度～）
- ⑤自主的・自律的学習機会の充実（2022年度～）

(5) 実践性の追求

学際性によって、地域社会をはじめ、幅広いフィールドにおいて、実践性の高い問題解決力を培うための教育プログラムを提供します。

名市大未来プラン2021 1-(2)

【実行項目】

- ①他研究科との連携強化（開講科目の共有化など）（2023年度～）
- ②部局を超えた学生の研究成果の発信・交流の場の充実（2023年度～）

(6) 主体性ある学生の育成

学生が自ら研究能力を高めると同時に、研究成果を発信できる場を拡充します。

名市大未来プラン2021 1-(3)

【実行項目】

- ①医療経済マネジメント、経営者コースを中心とする研究成果の発信（2023年度～）
- ②蓄積された研究成果の積極的な利用（2023年度～）
- ③学生との共同研究の推進（2023年度～）

(7) 研究者育成の強化

本研究科からの研究者輩出を強化します。

名市大未来プラン2021 1-(3)

【実行項目】

- ①任期付き助教の復活（ポストク対策）（2023年度～）

(8) 教育力の向上

FD活動により教員への情報提供、教員間の情報共有を進め、教育力を向上させます。

名市大未来プラン2021 1-(4)

【実行項目】

- ①FDワークショップ等を通じた教員の学びの機会の確保（2022年度～）

(9) 高大連携の強化

現代の諸課題に取り組む機会を大学生および高校生に提供し、協働の機会を提供します。

名市大未来プラン2021 1-(7)

【実行項目】

- ①現代の諸課題に取り組む機会及び協働の機会の提供（2022年度～）

(1) データ分析研究の活発化

データサイエンス学部（仮称）と連携して、データ分析に関する研究を活発に行います。

名市大未来プラン2021 2-(1)

【実行項目】

- ①データ分析手法に係る研究の充実（2021年度～）
- ②データサイエンス学部（仮称）との連携、共同研究の実施（2023年度～）

(2) 経営者コースとアントレプレナーシップ研究の充実

経営者コース担当教員を中心に、経営者・アントレプレナーシップに関する研究を活発に行います。

名市大未来プラン2021 2-(5)

【実行項目】

- ①経営者コース修了生と担当教員による起業家支援及び起業志望者の支援セミナー（シンポジウム）の実施（2021年度～）（再）
- ②経営者コース修了生を主たる講師とした起業支援科目の設置（2021年度～）（再）

(3) 都市政策研究センターの拡充

都市政策研究センターに所属している教員を中心に、都市政策に関する研究を活発に行います。

名市大未来プラン2021 2-(1)

【実行項目】

- ①定期的な研究会の実施（2021年度～）
- ②受託研究を増やすために、分析できる事項のPR（ホームページなど）（2021年度～）
- ③地域経済にとっての新しい価値づくりに向けた人材育成の拠点（JST-COI-NEXT事業「共創の場：人材育成事業・実証実験と実装」）（2021年度～）

(4) 医療経済経営研究の活発化

医療経済マネジメントコース担当教員および医療経済経営研究会の連携を強化し、医療経済経営に関する研究を活発化します。

名市大未来プラン2021 2-(1)

【実行項目】

- ①定期的な医療経済経営研究会の実施（2021年度～）
- ②医学・薬学研究科と連携した医療経済研究プロジェクトの実施（2021年度～）

(5) 外部資金の獲得

全教員が外部資金の獲得をめざします。

名市大未来プラン2021 2-(8)

【実行項目】

- ① 科研費セミナーの実施（大型の外部資金も含め、申請ノウハウを共有する。研究成果公開促進費の申請を促す）（2021年度～）

(6) 質の高い研究成果の増加

国際共著論文・Top10%論文や、高く評価される日本語の論文・著書の増加をめざします。

名市大未来プラン2021 2-(6)

【実行項目】

- ① 国際共著論文を執筆しやすくなる基盤の整備（2021年度～）
- ② 国内外の卓越した研究者を招聘し、研究会を開催できるよう支援（2021年度～）
- ③ 研究成果の戦略的・効果的な発信（2021年度～）

(7) 若手教員の育成

若手の研究活動を支援するとともに、次世代の研究科運営・大学運営を担う人材を育成します。

名市大未来プラン2021 2-(6)

【実行項目】

- ① 研究セミナー「火曜研究会」の活性化（2021年度～）
- ② 若手教員に限定した研究資金の補助（2023年度～）
- ③ 将来計画委員会や学科会議の活性化（2023年度～）

(1) SDGs未来都市ダブル・ブランド戦略の確立 ～NAGOYAブランド×名市大ブランド～

「SDGs未来都市」名古屋の実現に向け、経済学部が学生、教職員が関わる産学官連携プロジェクトを通じ、持続可能な産業・地域に貢献します。

名市大未来プラン2021 3-(1)

【実行項目】

- ①ゼミ単位等で実践する活動に関するSDGs目標の設定（例：企業と連携した避難所向けの学習スペースの開発と提供）（2021年度～）
- ②市民団体、研究機関、企業等との共催企画で、「世代、国籍、人種、セクターを超えた人々」が参加するワークショップの展開（例：次世代エネルギーワークショップ）（2021年度～）
- ③名古屋のものづくり（例：伝統産業）のリブランディング、及び、世界に発信するテーマ型連携プロジェクトの実施（2021年度～）

(2) 名古屋市シンクタンク機能の強化

名古屋市の課題に対して、名古屋市に蓄積されたビッグデータを活用したエビデンス・ベースの政策提言・学修プロジェクトによる課題解決等を目指すなど、シンクタンク機能を強化します。

名市大未来プラン2021 3-(4)

【実行項目】

- ①名古屋市各局連携の寄附講座の設置や産学官連携で各局の課題解決を目指すPBL型プロジェクトの実施（例：交通局との駅ナカ魅力プロジェクトのイメージ）（2021年度～）
- ②シンクタンク&フォローアップ組織（プロジェクト・マネージャー & サポート組織）の機能化（例：附置研究所の目的の一つとして）（2021年度～）
- ③名古屋市に蓄積されたビッグデータのデータ分析および政策提言に向けた助言（2021年度～）

(3) 市民が市民を支え、育てる社会づくりの拠点

学部・研究科の教育資源に外部の実践知を取り入れ、次世代育成を目指した共育環境を創出します。

名市大未来プラン2021 3-(2)

【実行項目】

- ①開かれた大学を目指して、科目等履修生の受け入れを推進（積極的拡張）（2021年度～）
- ②経済学部教員や学生が中心となって、中学、高校向けのまちづくりや地域づくりのためのイベント企画（2021年度～）
- ③各種連携プロジェクトの運営、社会貢献を希望する個人をプロボノとして組織化（2021年度～）
- ④市民よりテーマを公募した「共育ゼミ」の開催および参加のオープン化（科目等履修生制度の応用）（2021年度～）

(4) 新産業の創出基盤となる人材の戦略的育成機関

産学協同教育スタイルで、新産業の起点となる人材のコンピテンシー・ラーニングを支援します。

名市大未来プラン2021 3-(3)

【実行項目】

- ① 経営者コースの修了生を中心としたネットワーク（同窓会）の構築（2021年度～）
- ② 進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)専門コース(経営実務)修了生を中心としたネットワーク(同窓会)の構築（2021年度～）
- ③ 当該地域経済団体との連携を強化し、社会人向けのリカレント教育プログラムを構築（2021年度～）
- ④ 経済学研究科の特色と教育資産を活かした履修証明制度を活用して、リカレント需要にこたえる研修プログラムを提供（2021年度～）

国際化

(1) 学生と教員のための国際化サポート

経済学研究科・経済学部現在の学生と未来の学生が、国際的な環境のもとICTを活用し学びを充実できるようサポートします。経済学研究科教員が、国際的な環境のもと研究教育活動を充実できるようサポートします。

名市大未来プラン2021 4-(1)

【実行項目】

- ① 大学院と学部における英語開講科目の増加（2022年度～）
- ② ICTを積極的に活用した入試説明、出願、受験などオンラインと対面のベストミックスの追求（2022年度～）
- ③ サバティカルによる在外研究制度の再構築（2021年度～）
- ④ 国際交流センターと連携し、国際化担当人材の配置などにより国際化事業を推進（2022年度～）

(2) 国際交流協定校との研究教育交流の促進

経済学研究科・経済学部の学生と教員が、海外拠点校を中心として国際交流協定校との研究や教育の交流を通じた国際化に取り組みます。

名市大未来プラン2021 4-(3)

【実行項目】

- ① 海外拠点校ルートヴィクスハーフェン経済大学との交換留学の奨励（2022年度～）
- ② 交流協定校ミシガン州立大学と協力して、学生と教員が参加できる交流プログラムの構築に向けた協議（2022年度～）
- ③ 交流協定校ベトナム貿易大学との交流拡充（2022年度～）
- ④ 新たな国際交流協定校の模索（2022年度～）
- ⑤ 国際交流活動促進のための予算措置（2022年度～）

(3) 国際化と地域のための実践的な教育研究活動の促進

経済学研究科・経済学部が、地域の国際化や多文化共生に資する教育研究活動に積極的に取り組めるようサポートします。

名市大未来プラン2021 4-(4)

【実行項目】

- ①地域の国際化や多文化共生への学生の取り組み支援（2022年度～）
- ②地域で活動する組織や団体と協働する仕組みの構築（2022年度～）

医療

(1) 医療経済・経営の研究・教育の進化

医療経済・経営およびこれらに関連する諸問題等の研究を行うとともに、医療機関の経営問題について経済学・経営学の視点から解決できるような人材の育成を目指します。

名市大未来プラン2021 5-(5)

【実行項目】

- ①定期的な医療経済経営研究会の実施（2021年度～）（再）
- ②医学・薬学研究科と連携した医療経済研究プロジェクトの実施（2021年度～）（再）

経営基盤

(1) 効率的な施設・設備の利用

滝子キャンパス或いは大学全体での教室等の有効利用を行います。

名市大未来プラン2021 6-(5)

【実行項目】

- ①滝子キャンパス全体での効率的な施設利用（2021年度～）
- ②空間的な質を向上させる施設の変更・更新（2023年度～）

(2) 弾力的な予算配分

共通的な研究資産（データベース、学術雑誌等）を購入するため、研究費や教育費の有効な使い方を導入します。

名市大未来プラン2021 6-(4)

【実行項目】

- ①共通的な研究資産を購入するための予算配分方法の変更（2023年度～）
- ②学生実習費・院生研究費の使い方に関する再検討（2023年度～）

組織マネジメント

(1) 戦略的な教員の採用人事

新規分野や重点分野に対応した採用人事を行うとともに、実務教育を強化するために特任教授を増やします。

名市大未来プラン2021 7-(2)

【実行項目】

- ① 特色あるプログラムや重点分野に対応した採用人事（2023年度～）
- ② 名古屋市、地元企業との連携を深め、実務教育を強化する特任教授の採用（2023年度～）

(2) 戦略的人材確保・育成・配置

人材マネジメントの強化により、教員の研究活動を支援するとともに、研究科運営・大学運営を担う人材を育て、成長する組織を実現します。

名市大未来プラン2021 7-(2)

【実行項目】

- ① 研究セミナー「火曜研究会」の活性化（2021年度～）（再）
- ② 若手教員に限定した研究資金の補助（2023年度～）（再）
- ③ 将来計画委員会や学科会議の活性化（2023年度～）（再）

MIRAIへの展開

(1) 同窓会との協働

経済学部と同窓会（瑞山会）と連携して、学部生をサポートする仕組みを取り入れながら、愛校心の醸成に努めていきます。

名市大未来プラン2021 8-(5)

【実行項目】

- ① 留学費補助制度、卒業式表彰制度の継続（2021年度～）
- ② 同窓会総会への積極的参加（2021年度～）
- ③ 同窓会による学生相談室の定期的開催（2023年度～）
- ④ 上記①②③を活発に実施するための拠点の確立（2023年度～）